

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 10 月 5 日 作成

事務事業名		妊婦・新生児訪問事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	健康福祉部	課長名 中山 輝一郎
	施策	18	子どもを見守り、育てる地域づくり	所属課	健康づくり推進課	担当者名 東 亜紀
	基本事業	60	相談支援体制の充実	所属班	健康推進班	(内線) 2169
				法令根拠	母子保健法 児童福祉法	

予算科目	会計	1	款	4	項	1	目	6	事業連番	10608	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	6	コスト削減優先度評価結果	9
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 平成元 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)											

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
安心して妊娠生活及び育児が行えるよう、妊婦及び、生後2か月の赤ちゃんと母親を保健師または委託の保健師助産師が訪問する。
【業務の流れ】
妊娠・出生届け後にパソコン入力する。月毎の名簿(台帳)を打ち出し、保健師・助産師に訪問する人を割り振りする。保健師助産師に訪問する人のカルテを手渡す。市の保健師:訪問する日を電話で予約し訪問する。帰宅後訪問記録をする。委託:訪問後請求書、訪問記録表受け取る際に内容確認を行う。訪問者の記録を台帳に記載する。請求内容を確認し、委託の保健師・助産師へ支払いを行う。
【主な予算費目】
報償費、費用(印刷製本費)

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 生後2か月児及び母親の訪問	
① 手段(主な活動)	20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 妊婦訪77件(うち委託68件) 生後2か月児及び母親の訪問:506件(うち委託382件)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	ア 妊婦訪問件数 件 イ 赤ちゃん訪問件数 件
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	妊婦、生後2か月の赤ちゃん及び母親	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)	ア 妊娠届出数 人 イ 出生数 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	楽しく育児を行うことができる	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)	ア 健診で育児が楽しくないと答えた人の数 人 イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)	子育ての不安を解消できる	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位)	ア 相談件数 件 イ ファミサボ利用件数 件

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 目標(目標)	23年度 目標(予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業費	国庫支出金	千円			1,066	824	882	882	882	総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載) 目 標 合 計 数 計 画 値 画
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	一般財源	千円	2,100	2,000	1,066	824	1,100	1,100	1,100		
	(A) 事業費計	千円	2,100	2,000	2,132	1,648	1,982	1,982	1,982	0	
	うち指定経費	千円									
	うち時間外、特殊勤務手当	千円									
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	8	2	2	2	
延べ業務時間	時間	570	520	520	840	520	520	520			
(B)人件費計	千円	2,263	2,070	2,070	3,343	2,070	2,070	2,070	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	4,363	4,070	4,202	4,991	4,052	4,052	4,052	0		
活動指標	ア 件 イ 件		89 548	65 574	100 590	68 382	100 590	100 590	100 590	100 590	
対象指標	ア 人 イ 人		625 600	622 587	640 620	687 579	640 620	640 620	640 620	640 620	
成果指標	ア 人 イ 人		23 0	0 0	0 0	5 0	0 0	0 0	0 0	0 0	
上位成果指標	ア 件 イ 件		2889 2300	3590 2212	2900 2400	2468 2,350	2800 2400	2700 2400	2700 2400	22 2400	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
平成6年の母子保健法の改正により、新生児訪問指導を市町村が行うことになり開始。平成14年熊本県母親のこころのケア推進事業検討会の発足により、全新生児、全産婦の訪問事業を開始。新生児訪問について、H20年の児童福祉法等の一部改正により規定された「乳児家庭全戸訪問事業」と併せて実施。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
開始当初は町の保健師で訪問を実施していた。出生数(人口)が増加していくにつれ、在宅保健師・助産師へ一部委託して実施するようになった。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
「体重の伸びが気になっていたから、訪問に来ていただけて助かります」や「相談できてよかった」などの意見がある。

事務事業名	妊婦・新生児訪問事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	------------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 意図の「楽しく育児が行うことができる」により、結果の「子育ての不安を解消できる」ことに結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 市が訪問することで、母親自身が安心して訪問を受け入れることができ、さらに今後子育てに不安になった時の相談する場所も知ることができる。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 対象意図とも現状で適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 初妊婦・生後2か月の赤ちゃん及び母親の訪問は100%ではないため、極力100%に近づけていく。また、電話での訪問予約の際、不審に思われる市民がいるため事業の周知を徹底する。
	⑤廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 相談できる機会が少なくなり、母親の育児に対する不安が増大する。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 他に類似した事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 必要最低限の事業費で行っている。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 訪問時間は対象者によって異なり、ゆっくりと母親の話を聞く必要があるため、業務時間の削減は難しい。また、訪問回数等も対象によって異なる。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 母子を重点的に訪問しているが、相談等があれば、その他も訪問しているため、公平・公正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒ ②有効性については、初妊婦・生後2か月の赤ちゃん及び母親の訪問は100%ではないため、極力100%に近づけていく。また、電話での訪問予約の際、不審に思われる市民がいるため事業の周知を徹底する。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 今後も、訪問事業について母子健康手帳交付時や出生届出時にさらに周知を徹底する。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
 連絡が取れず訪問できない対象者がいるため、事業の周知を徹底することが必要である。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	8	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	12	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)